

グローレシニアマスターズ

＜競技の条件＞

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則及び本大会ローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、委員会の裁定は最終である。

3. プレーの条件

18ホールズストロークプレー

4. 使用球

競技者の使用球はR & A発行の公認球リスト（JGAホームページ：www.jga.or.jp）に記載されているものでなければならない。この条件の違反の罰は、競技失格。

※本競技ではワンボール条件は適用しないものとする。

5. 使用クラブ

R & A / USGAのテスト基準を超えるスプリング効果を持つドライビングクラブ(所謂「高反発クラブ」)はJGARルールの変更に伴い使用不可とする。

6. ホールとホールの間での練習禁止

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。

これに違反して練習ストロークした場合、競技者は次のホールで2打の罰を受ける。ただし、ラウンドの最終ホールでのときは、そのホールで罰を受ける。※練習グリーンでのパッティング練習を除く

7. プレーの一時中止と再開

①プレーの一時中止（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、規則6-8b, c, dに従って処置すること。

②陰悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが一時中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間に行ったときには、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレー途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、規則3-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。（規則6-8b注）

③プレーの一時中止と再開の合図について

中止・再開の合図はゴルフ場によって異なるので、陰悪な状況になった場合は、委員会・ゴルフ場からの案内に注意すること。

8. 移動

競技者は、常に歩いてラウンドしなければならないが、乗用カートがある場合は乗車することができる。

9. 陰悪な気象条件のため競技が中止になった場合

①競技中止の時点で9ホールを消化していれば競技成立、消化していなければ不成立とする。なお、9ホールでの競技成立の場合は、アウトスタート・インスタート各々の最少スコア者を上位とする。タイスコアが発生した場合は、アウトスタートは9番、インスタートは18番からのカウントバックにより上位を決定する。

10. タイスコアの場合

予選大会、および決勝大会において、スコアがタイとなった場合、マッチング・スコアカード方式により順位を決定する。

それでも決定しない場合には、18番からのカウントバックにより決定する。

なお、それでも決定しない場合には、年長の選手を優勝とする。

11. 競技終了時点と裁定

本大会は、成績発表がなされた時点で終了となり、その後の変更はしない。

ルール処置・その他疑問がある場合は、アテスト終了までに申告すること。

12. チェックイン

大会当日における朝のチェックインについて、発表された各自のスタート時間の50分前までに大会受付を終えなければならない。連絡もなく20分前までに受付しなければ失格とする。

<大会ローカルルール>

- アウト・オブ・バウンズ（OB）の境界は白杭をもって標示する。
- 修理地は青杭又は、白線をもってその限界を標示する。
- ウォーターハザードは大会ローカルルールで指定する場合を除き、黄杭又は黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭又は赤線、線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。無い場合は水際又はコンクリート(木)壁をもってその限界を標示する。
- 排水溝は動かさない障害物とする。
- 人工の表面をもつ道路に接した排水溝は、その道路とみなす。
- 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、競技者は規則24-2b(i)を適用しなければならない。このローカルルールの違反の罰は2打。
- 使用禁止の表示のある予備グリーン（カラーを含む）はプレー禁止の修理地（スルー・ザ・グリーン）とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合、競技者は規則25-1b(i)を適用しなければならない。このローカルルールの違反の罰は2打。
- 樹木保護のための巻き網は樹木の一部とみなすが、球がその巻き網に挟まって止まった場合は、罰なしにその直下の地点から1クラブレンジス以内で、且つホールに近づかない個所に球をドロップすることができる。取り出した球は、拭くことができる。
- グリーン上に球がある時はパター以外のクラブの使用を禁ずる。但しパターが破損し使用不可能な時はその限りではない。
- スルー・ザ・グリーン（砂地の場所を除く）のどこでも、自己の球がその勢いで自ら地面に作った穴（ピッチマーク）にくいこんでいるときは、その球は罰なしに拾いあげて、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた地点にできるだけ近い個所にドロップすることができる。取り出した球は、拭くことができる。
- スルー・ザ・グリーンにおいて、新しい張り芝の継ぎ目（目地）に球があるか、それに触れている場または意図するスイングの区域の妨げになる場合は、規則25-1bによる救済を受けることができる。張り芝の区域内のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目とみなす。
- 固定スプリンクラーヘッドはすべて動かさない障害物であり、これらのものによる障害からの救済は規則24-2によりうけることができる。その他にも球がグリーンから外れてはいるがハザード内でないところにある場合で、そのような障害物（スプリンクラーヘッド）がグリーン上にある時、またはグリーンから2クラブレンジス、球からも2クラブレンジスの範囲内にあり、しかも球とホールを結ぶプレ

- 一の線上に介在している時は競技者は次のような救済を受けることができる。a) ホールに近づかず、
- b) そのような障害を避けられる、c) ハザード内でもグリーンでもない場所で、球のあった箇所に最も近い所にドロップしなければならない。拾い上げた球は拭くことができる。このローカルルールの違反の罰は2打。
13. コールオン方式。パー3のホールに限り、プレーのペースを全体的にスピードアップするため、先行組のプレーヤーは、自分の組の誰もまだパットを始めていない段階で後続組のプレーヤー全員がティインググラウンドまで来ている場合、グリーン上にある球の位置をマークして総て拾い上げ、後続組のプレーヤー全員がティーショットを済ませるまでプレーを控え、後続の組にティインググラウンドからプレーさせることができる。先行組からプレーすることを求められ、後続組がそれに応じたときは、その段階で後続組の各プレーヤーは、自分の球が他のプレーヤーのプレーを妨げたり援助することになりそうだと思うときは何時でもその球を拾い上げて良いとの許可を先行組に与えたものとみなす。
14. バンカー内の石は、動かせる障害物とする。(規則24-1)
15. 雨によるバンカー内の流水路跡に入った球は、罰なしに拾い上げ、ホールに近づかず、球の止まっていた箇所にできるだけ近いところにドロップすることができる。(拾い上げた球は拭くことができる)

<賞典>

- ・ 予選参加者には参加賞を贈呈する。
- ・ 各予選の各カテゴリー優勝者にはメダリスト賞、および副賞を贈呈する。
- ・ 各予選の各カテゴリー上位3位までを当日表彰、および副賞を贈呈する。
- ・ 各予選上位15%~20% (参加者比率) は、1月に開催される決勝大会の出場権が与えられる。
- ・ 決勝大会の表彰は、カテゴリーに関係なく上位3位とする。
- ・ 決勝大会の優勝者には、2016年度シニアツアー本戦への出場権が与えられる。

<注意事項>

- ゴルフ場ごとに競技の条件やローカルルールに追加・変更がある場合は、当日クラブハウス内の大会公式掲示板に掲示して告示するので、**各自スタート前に必ず確認しなければならない(規則6-1)**。
- マーカーとは、あくまでも委員会(ゴルフダイジェスト社)がスコアを記録するために指名した人のことで、規則を判断・裁定する権限はありません。キャディも同様です。最終判断はあくまでも個人ということになり、処置が間違っていた場合には個人のペナルティとなるので、注意すること。
- 大会受付のチェックイン登録は、遅くともスタート50分前には済ませ、スタート時間の10分前には必ずティインググラウンド側にて待機すること。**やむをえずスタート時刻に遅れそうなときは、各々のスタート時間の40分前までに必ず、事務局携帯電話、またはゴルフ場まで連絡を入れること。**
- スタート前の練習は練習場において備付けの球を使用し、1人1箱とする。
- グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
- 特設ティ等は、ローカルルールで指定された場合を除き、使用しないものとする。
- ドローは諸般の事情により当日変更もありうる。なお、ペアリング(ドロー)は事務局が決定する。
- プレー中はマナーを遵守するとともに、スロープレーは厳禁とする。前組との間隔を1ホール以上空けることのないよう注意すること。ハーフラウンドを原則2時間15分とし、2時間45分を超えた場合にはペナルティを課すことがある。

- OBまたはロストボールの可能性がある場合には、必ず暫定球の処置を行うこと。
- コース内に携帯電話の持ち込みをしない（誤解を招く行為はしないこと）。
- 距離計測器などの人工の機器（規則14-3）は使用できない（ローカルルールで指定された場合を除く）。
- 素振り棒・スタンス棒などは異常な用具（規則14-3）に該当するので、使用できない。
- キャディはゴルフ場で配属するものを使用し、他からの帯同キャディは認められない。
- ギャラリー（応援者）はコース内に立ち入ることができない。
- エントリーフィ入金後はいかなる理由でも返金できない。既に申込みの会場が締切り後の場合は、会場変更はできない。
- 各予選大会において、予選通過者が出場を辞退した場合、およびエントリー締切りまでにエントリーされなかった場合、出場を辞退したものと見なし、次点（該当地区およびスコアを考慮）から順次繰上げとする。
- 主催者の責に帰すべき事由によるもの以外に、大会中に発生した傷害・事故等については一切責任を負わない。
- 日本国刑法に問われている者、或いは現在、過去において暴力団に関係する者及びこれらに準ずると判断される者は、本競技の参加を認めない。
また、刺青やファッションとしてのタトゥーを入れている人の参加も認めない。
- 競技委員会は、競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレイヤーの参加資格を取り消すことができる。
- 参加者の顔写真および氏名等を使用する権利は大会事務局に帰属する。
- 申込者の個人情報が出場大会に関する案内・連絡に利用する他、テーラーメイドゴルフ（株）、ゴルフダイジェスト社、スポーツニッポン新聞社よりイベント・出版物・販売物等の資料送付に利用することがあるので、希望しない場合は大会事務局まで連絡をすること。
- 申込者の個人情報はゴルフダイジェスト社が責任管理し、業務委託先以外の第三者に開示・提供することはない（法令などにより開示を求められた場合は除く）。

＜その他＞

- 最終結果は競技終了後、大会公式掲示板に掲示する（2日後にはGD社ホームページでも確認可能）。
- 予選通過枠については各会場にて発表する（参加者比例配分）。
- 変更・追加が出た場合は、大会公式掲示板に告示する。

大会に関する問合せ・キャンセルの連絡先

グローレシニアマスターズ大会事務局

電話：03-3432-1488（平日・土・日 10：00～17：00）